

仮貯蔵・仮取扱い実施計画書

年 月 日

埼玉西部消防組合消防長

提出者 住所

氏名

(法人の場合は、名称・代表者の氏名)

危険物の所有者、 管理者又は占有者	住 所	電 話 ()	
	氏 名		
仮貯蔵又は仮取扱いの場所	市		
仮貯蔵、仮取扱いに使用する 部 分 の 面 積	屋外・屋内 m ²		
危険物の類、品名（指定 数 量 ）、 最 大 数 量		指定数量の倍数	倍
仮貯蔵、仮取扱いの目的	(仮貯蔵・仮取扱いの想定期間 日間・不明)		
仮貯蔵、仮取扱いの形態	<input type="checkbox"/> ドラム缶等による燃料の貯蔵及び取扱い（形態例①） <input type="checkbox"/> 危険物を収納する設備等からの危険物の抜き取り（形態例②） <input type="checkbox"/> 移動タンク貯蔵所等による軽油の給油・注油等（形態例③） <input type="checkbox"/> 可搬式給油設備と移動タンク貯蔵所を用いた車両への給油（形態例④） <input type="checkbox"/> 避難所等の屋外における消毒用アルコール等の貯蔵等（形態例⑤） <input type="checkbox"/> 避難所等の屋内における消毒用アルコール等の貯蔵等（形態例⑥） <input type="checkbox"/> その他		
仮貯蔵、仮取扱い方法			
安全対策・管理状況			
消 火 設 備			
その他必要な事項			

※受付欄	※経過欄

- 備考 1 仮貯蔵、仮取扱い形態例を用いる場合は、案内図、レイアウト図、消火設備・掲示板設置場所、その他必要な書類のほか、安全対策・管理状況チェックリストを添付してください。
2 提出者住所・氏名は、代表者の住所・氏名を記入してください。
3 ※印欄は、記入しないでください。

仮貯蔵・仮取扱い実施計画書

年 月 日

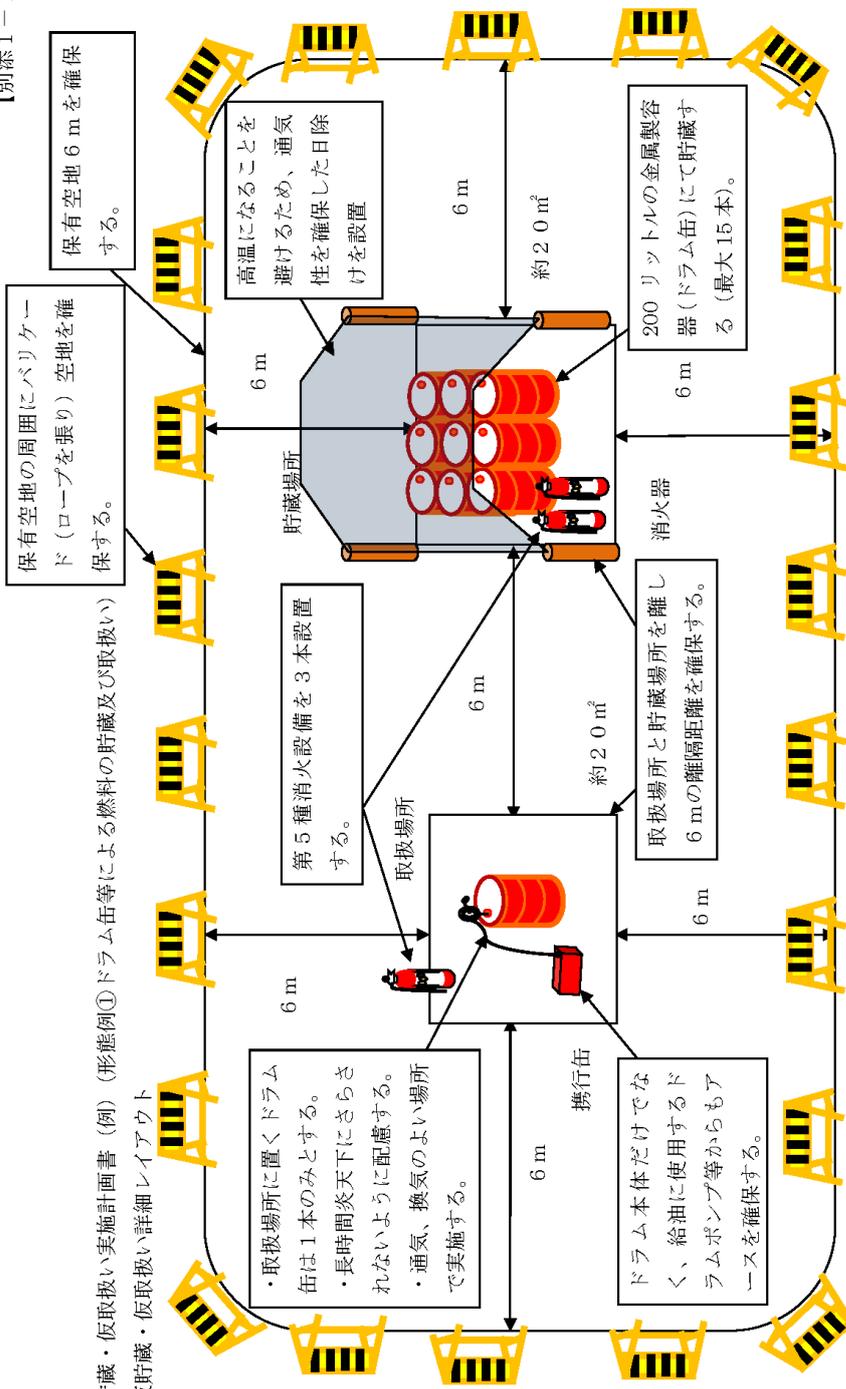
埼玉西部消防組合消防長

提出者 住所 所沢市大字神米金 2 5 6 番地の 4
 氏名 株式会社富岡電力
 代表取締役 下富 太郎

危険物の所有者、 管理者又は占有者	住所	所沢市大字神米金 2 5 6 番地の 4 電話 0 4 (2 9 〇 〇) 〇 〇 〇 〇		
	氏名	株式会社富岡電力 代表取締役 下富 太郎		
仮貯蔵又は仮取扱いの場所	所沢市東所沢四丁目 1 2 番地の 2			
仮貯蔵、仮取扱いに使用する 部分の面積	<input checked="" type="checkbox"/> 屋外・屋内 4 5 0 m ²			
危険物の類、品名（指定 数量）、最大数量	第 4 類第 1 石油類ガソリン (2 0 0 L) 3 , 0 0 0 L	指定数量の倍数	1 5 倍	
仮貯蔵、仮取扱いの目的	携帯用発電機に燃料を補給するため。 (仮貯蔵・仮取扱いの想定期間 日間・不明)			
仮貯蔵、仮取扱いの形態	<input checked="" type="checkbox"/> ドラム缶等による燃料の貯蔵及び取扱い（形態例①） <input type="checkbox"/> 危険物を収納する設備等からの危険物の抜き取り（形態例②） <input type="checkbox"/> 移動タンク貯蔵所等による軽油の給油・注油等（形態例③） <input type="checkbox"/> 可搬式給油設備と移動タンク貯蔵所を用いた車両への給油（形態例④） <input type="checkbox"/> 避難所等の屋外における消毒用アルコール等の貯蔵等（形態例⑤） <input type="checkbox"/> 避難所等の屋内における消毒用アルコール等の貯蔵等（形態例⑥） <input type="checkbox"/> その他			
仮貯蔵、仮取扱い方法	軽油をドラム缶等で貯蔵する。手動ポンプにて金属製携行缶等への詰替えを行う。			
安全対策・管理状況	別添「安全対策・管理状況チェックリスト」のとおり。			
消 火 設 備	1 0 型粉末 A B C 消火器（第 5 種）を 3 本設置			
その他必要な事項				

※受付欄	※経過欄

- 備考 1 仮貯蔵、仮取扱い形態例を用いる場合は、案内図、レイアウト図、消火設備・掲示板設置場所、その他必要な書類のほか、安全対策・管理状況チェックリストを添付してください。
 2 提出者住所・氏名は、代表者の住所・氏名を記入してください。
 3 ※印欄は、記入しないでください。



仮貯蔵・仮取扱い実施計画書(例)(形態例①ドラム缶等による燃料の貯蔵及び取扱い)

1 仮貯蔵・仮取扱い詳細レイアウト

取扱場所に置くドラム缶は1本のみとする。
 ・長時間炎天下にさらされれないように配慮する。
 ・通気、換気の実施する。

第5種消火設備を3本設置する。

取扱場所と貯蔵場所を離し6mの離隔距離を確保する。

高温になることを避けるため、通気性を確保した日除けを設置

保有空地の周囲にバリケード(ロープを張り)空地を確保する。

保有空地6mを確保する。

2 標識・掲示板(例) ※ 標識・掲示板を設置し関係者に注意喚起を行う。



危険物仮貯蔵・仮取扱い所
 危険物の類・品名・数量(倍数)
 ・第4類 第1石油類 ガソリン
 3, 000リットル(15倍)
 管理者 ○○ △○○

- ・大きさ、縦30cm以上、幅60cm以上(縦書きでも可)
- ・「火気厳禁」は、地は赤色、文字は白色
- ・「危険物仮貯蔵・仮取扱い所」は、地は白色、文字は黒色

安全対策・管理状況チェックリスト（形態例①）ドラム缶等による燃料の貯蔵及び取扱い

	確認	消防	項目	備考
貯蔵及び取扱い方法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	一時的な貯蔵やドラム缶から手動ポンプ等を用いて金属携行缶への詰め替えを行うものである。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	危険物を取り扱う場所は屋外である。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ガソリン等は金属製容器（ドラム缶等）にて貯蔵する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	周囲に _____メートルの保有空地を確保している。	危政令第16条第1項第4号による距離
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	貯蔵場所と取扱い場所に _____メートルの離隔距離をとる。	危政令第16条第1項第4号による距離
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	高温となることを避けるため、通気性を確保した日除けを貯蔵場所に設ける。屋内においてドラム缶等による燃料の貯蔵を行う場合、当該場所の通気・喚起を確保する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	取扱場所において、危険物が長時間炎天下にさらされないようにする。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10型のABC消火器（第5種消火設備）を3本以上設置する。指定数量の倍数が100倍を超えるものについては第5種消火設備に加えて第4種消火設備（大型消火器）を1個以上設置する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	標識、掲示板を設置し、関係者に注意喚起を行う。 「危険物仮貯蔵・仮取扱所」 「危険物の類・品名・数量（倍数）」 「火気厳禁」	
安全対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ドラム本体、給油に使用するドラムポンプのアースを確保する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保有空地を含め、危険物の貯蔵取扱場所での火気使用を禁止する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	吸着マット等危険物の流出時の応急資機材を準備する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者が行う。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	危険物を取り扱う者は、静電安全靴を着用する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地震発生、避難勧告時の対応が定められている。	
管理状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保有空地の周囲にバリケード等を設け、空地を確保する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	敷地の出入り管理を徹底し、いたずら・盗難を防止する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	作業前と作業後に点検を行い、その結果を記録する。	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	金属製携行缶による給油は、取扱い場所以外では行わない。	

※「確認」欄は、計画上問題ないことを確認の上チェックし、実施計画書と共に提出してください。

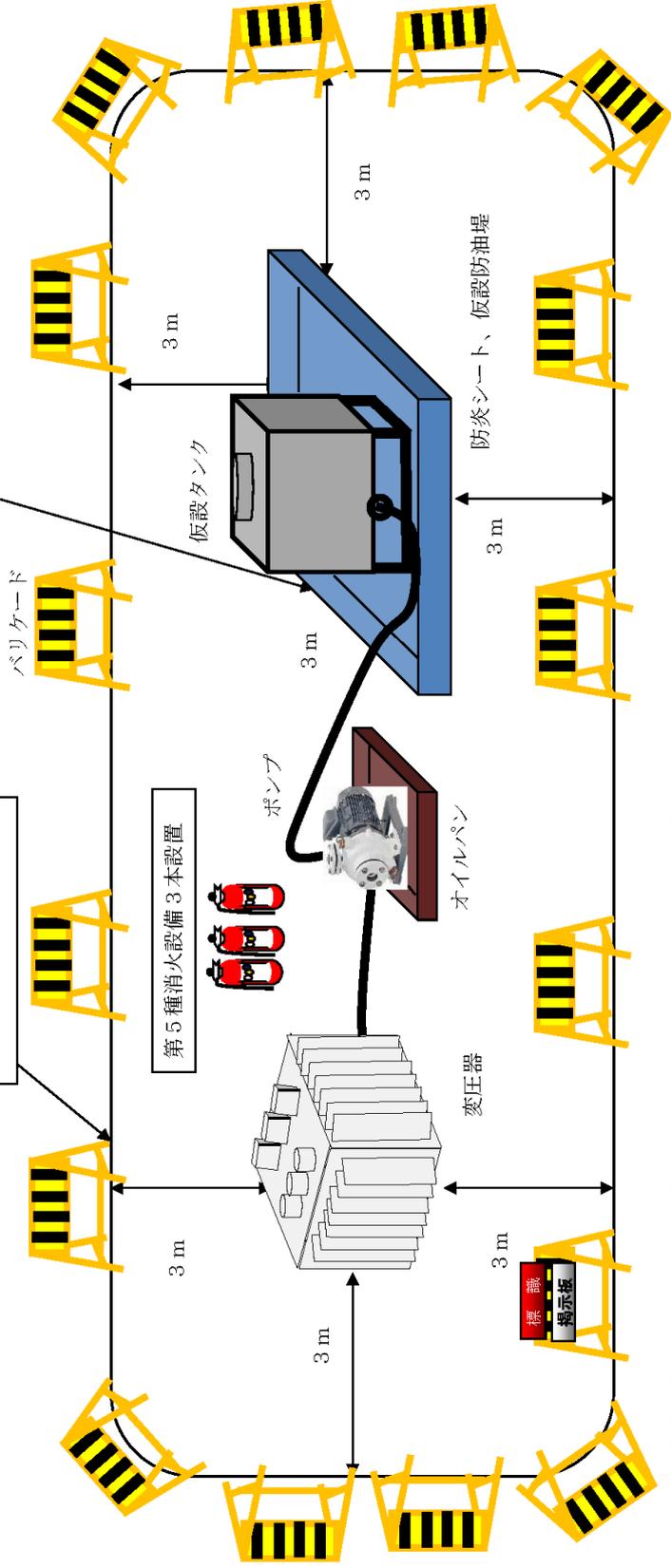
※「消防」欄は、埼玉西部消防局の現地確認時（または電話連絡時）に使用します。

仮貯蔵・仮取扱い実施計画書（例）（形態例②）危険物を収納する設備等から危険物の抜取り

1 仮貯蔵・仮取扱い詳細レイアウト

保有空地3mを確保する。

仮設防油堤の設置、漏えい防止シート
の敷設により流出防止対策
を講ずる。



2 標識・掲示板（例） ※ 標識・掲示板を設置し関係者に注意喚起を行う。



危険物仮貯蔵・仮取扱所
 危険物の類・品名・数量（毎数）
 ・第4類 第3石油類（潤滑油）
 10,000リットル（5缶）
 管理者 ○○ △◇◇

- ・ 大きさ、縦30cm以上、幅60cm以上（縦書きでも可）
- ・ 「火気厳禁」は、地は赤色、文字は白色
- ・ 「危険物仮貯蔵・仮取扱所」は、地は白色、文字は黒色

安全対策・管理状況チェックリスト（形態例②）危険物を収納する設備等から危険物の抜取り

	確認	消防	項目	備考
貯蔵及び取扱方法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	変圧器の修繕、点検のため、変圧器内部の絶縁油を一旦抜き取り、仮設タンク等で貯蔵し、内部修繕・点検終了後に変圧器内に再度注油するものである。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	危険物を取り扱う場所は屋外である。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	周囲に____メートルの保有空地を確保している。	危政令第16条第1項第4号による距離
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10型のABC消火器（第5種消火設備）を3本以上設置する。指定数量の倍数が100倍を超えるものについては第5種消火設備に加えて第4種消火設備（大型消火器）を1個以上設置する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	標識、掲示板を設置し、関係者に注意喚起を行う。 「危険物仮貯蔵・仮取扱所」 「危険物の類・品名・数量（倍数）」 「火気厳禁」	
安全対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	変圧器等、ポンプ、仮設タンクのアースを確保する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保有空地を含め、危険物の貯蔵取扱場所での火気使用を禁止する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	仮設の防油堤を設置するとともに、漏洩防止シートの敷設等の流出防止対策を講じる。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	配管の結合部からの流出防止対策としてオイルパンを設置する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1か所の取扱い場所で同時に複数の設備からの抜取りは行わない。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者が行う。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	危険物を取り扱う者は、静電安全靴を着用する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地震発生、避難勧告時の対応が定められている。	
管理状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保有空地の周囲にバリケード等を設け、空地を確保する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	敷地の出入り管理を徹底し、いたずら・盗難を防止する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	作業前と作業後に点検を行い、その結果を記録する。	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	危険物の抜き出し等を行った変圧器の数および危険物の数量を記録する。	

※「確認」欄は、計画上問題ないことを確認の上チェックし、実施計画書と共に提出してください。

※「消防」欄は、埼玉西部消防局の現地確認時（または電話連絡時）に使用します。

安全対策・管理状況チェックリスト（形態例③）移動タンク貯蔵所等による軽油の給油・注油等

	確認	消防	項目	備考
貯蔵及び取扱方法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	重機への燃料補給及びドラム缶への注油を行うためのものである。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	危険物を取り扱う場所は屋外である。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	移動タンク貯蔵所から直接給油または容器の詰め替えを行う場合は、ガソリン以外の危険物とすること。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	移動タンク貯蔵所から直接重機への給油及びドラム缶への詰め替えを行う。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	詰め替えたドラム缶は別途確保する貯蔵場所に速やかに移動させる。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	周囲に_____メートルの保有空地を確保している。	危政令第16条第1項第4号による距離
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	貯蔵場所と取扱い場所に_____メートルの離隔距離をとる。	危政令第16条第1項第4号による距離
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	高温となることを避けるため、通気性を確保した日除けを貯蔵場所に設ける。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10型のABC消火器（第5種消火設備）を3本以上設置する。指定数量の倍数が100倍を超えるものについては第5種消火設備に加えて第4種消火設備（大型消火器）を1個以上設置する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	標識、掲示板を設置し、関係者に注意喚起を行う。 「危険物仮貯蔵・仮取扱所」 「危険物の類・品名・数量（倍数）」 「火気厳禁」	
安全対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ドラム本体、給油に使用するドラムポンプのアースを確保する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保有空地を含め、危険物の貯蔵取扱場所での火気使用を禁止する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	吸着マット等危険物の流出時の応急資機材を準備する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者が行う。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地震発生、避難勧告時の対応が定められている。	
管理状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保有空地の周囲にバリケード等を設け、空地を確保する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	敷地の出入り管理を徹底し、いたづら・盗難を防止する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	作業前と作業後に点検を行い、その結果を記録する。	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	移動タンク貯蔵所への注油は別の場所で行う。	

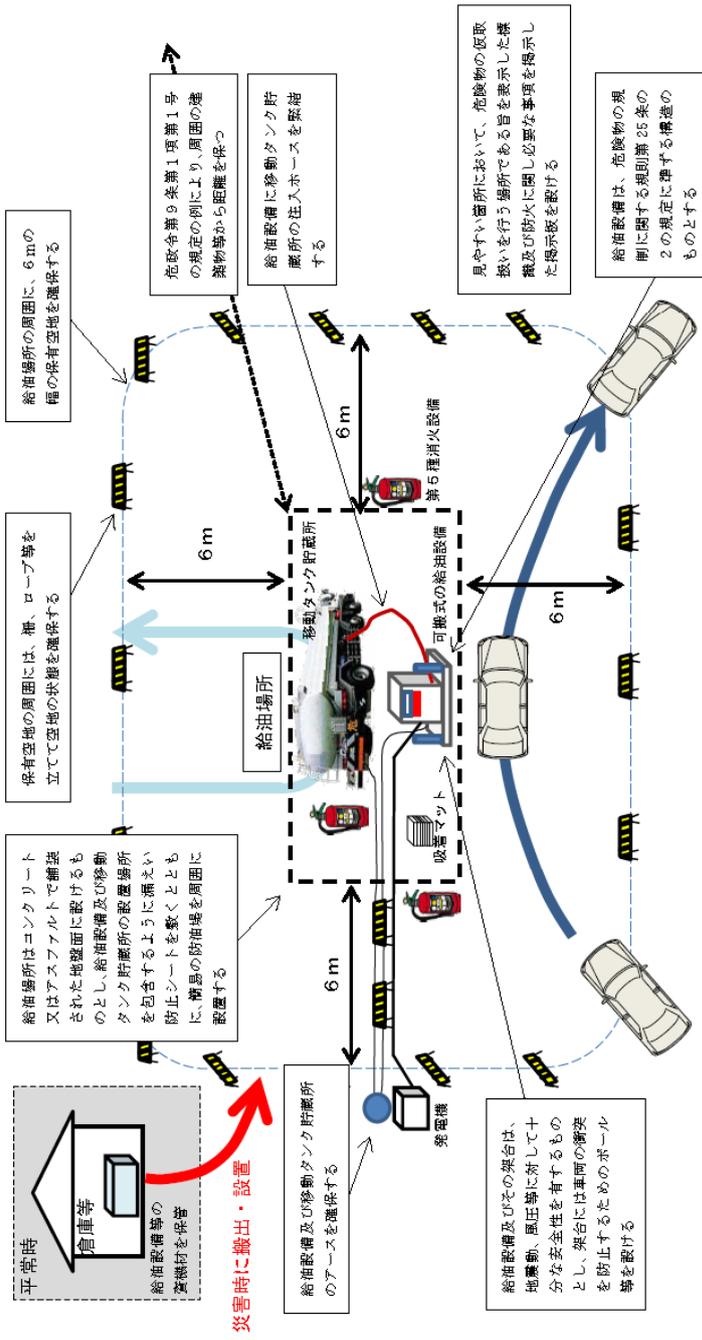
※「確認」欄は、計画上問題ないことを確認の上チェックし、実施計画書と共に提出してください。

※「消防」欄は、埼玉西部消防局の現地確認時（または電話連絡時）に使用します。

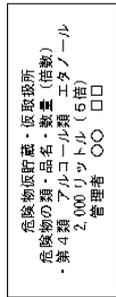
【別添1-4】

仮貯蔵・仮取扱い実施計画書(例)(形態例④)可搬式給油設備と移動タンク貯蔵所を用いた車両への給油

1 仮貯蔵・仮取扱いの詳細レイアウト



2 標識・掲示板(例) ※標識・掲示板を設置し関係者に注意喚起を行う。



- ・大きさ：縦30cm以上、横60cm以上(縦書きでも可)
- ・「火気厳禁」は、地は赤色、文字は白色
- ・「危険物仮貯蔵・仮取扱所」は、地は白色、文字は黒色
- ・「給油中エンジン停止」は、地は黄赤色、文字は黒色

安全対策・管理状況チェックリスト（形態例④）可搬式給油設備と移動タンク貯蔵所を用いた車両への給油

	確認	消防	項目	備考
貯蔵及び取扱方法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	給油設備に移動タンク貯蔵所の注入ホースを繋結し、給油設備を用いて自動車への給油または容器への注油を行うものである。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	危険物を取り扱う場所は屋外である。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	危政令第9条第1項第1号の規定の例により、周囲の建築物から距離を保つこと。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	周囲に6メートルの保有空地を確保している。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10型のABC消火器（第5種消火設備）を3本以上設置する。指定数量の倍数が100倍を超えるものについては第5種消火設備に加えて第4種消火設備（大型消火器）を1個以上設置する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	標識、掲示板を設置し、関係者に注意喚起を行う。 「危険物仮貯蔵・仮取扱所」 「危険物の類・品名・数量（倍数）」 「火気厳禁」	
安全対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	給油設備は、危規則第25条の2(固定給油設備等の構造)の規定に準ずる構造のものである。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	給油設備の架台には、車両の衝突を防止するためのポール等が設けられている。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	移動タンク貯蔵所1台につき、貯蔵する危険物はガソリン、灯油または軽油の何れか一油種とする。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	危険物の取扱い作業後において、移動タンク貯蔵所の注油ホース及び給油設備内の危険物を携行缶等に排出する際に吸気に供するため、移動タンク貯蔵所のタンク室の1つは空室にしておく。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	給油設備と移動タンク貯蔵所のアースを保有空地外に確保する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	給油設備の電源は保有空地外の発電機または乗用電源を用いる。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	危険物を取り扱う作業者は、静電安全作業服及び静電安全靴を着用する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保有空地を含め、危険物の貯蔵取扱場所での火気使用を禁止すること。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	吸着マット等危険物の流出時の応急資機材を準備する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	吸着マット等危険物の流出時の応急資機材を準備する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者が行う。	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地震発生、避難勧告時の対応が定められている。		
管理状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保有空地の周囲にバリケード等を設け、空地を確保する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	敷地の出入り管理を徹底し、いたづら・盗難を防止する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	作業前と作業後に点検を行い、その結果を記録する。移動タンク貯蔵所の危険物積載状況についても確認を行う。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	作業前と作業後に点検を行い、その結果を記録する。	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	給油業務終了後は、移動タンク貯蔵所を常置場所へ移動させる。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	移動タンク貯蔵所への注油は別の場所で行う。	

※「確認」欄は、計画上問題ないことを確認の上チェックし、実施計画書と共に提出してください。

※「消防」欄は、埼玉西部消防局の現地確認時（または電話連絡時）に使用します。

安全対策・管理状況チェックリスト（形態例⑤）避難所等の屋外における消毒用アルコール貯蔵等

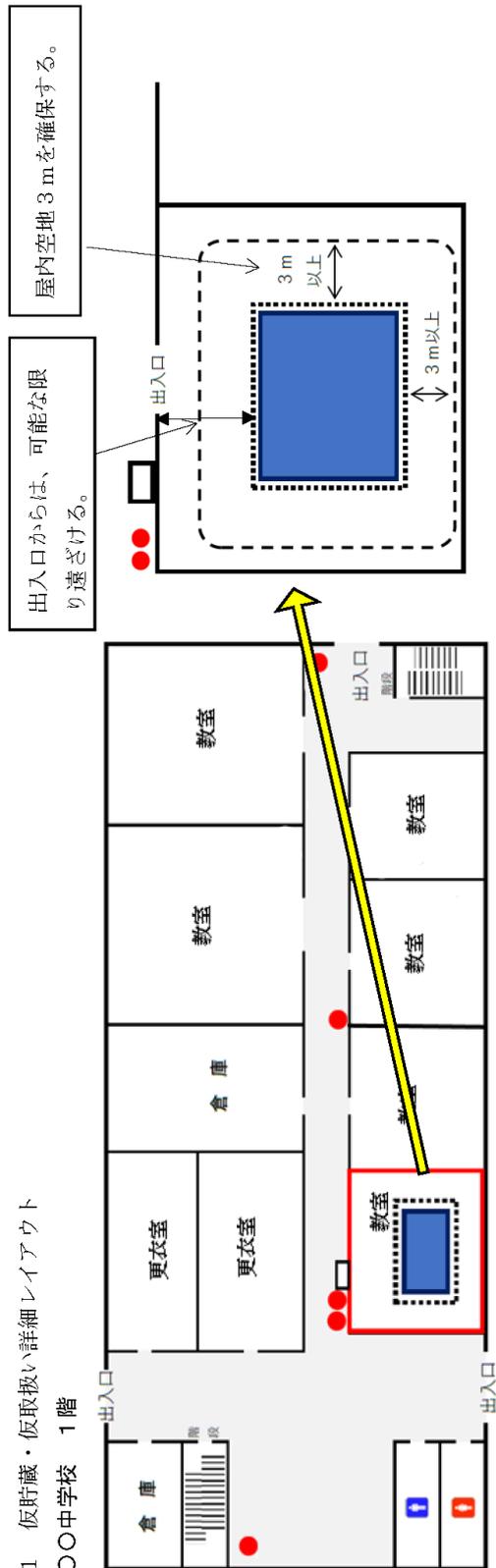
	確認	消防	項目	備考
貯蔵及び取扱方法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	屋外でのアルコール類の一時的な貯蔵や詰め替えを行うものである。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	危険物を取り扱う場所は屋外である。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	アルコール類は運搬容器の基準に適合するものにて貯蔵する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	周囲に_____メートルの保有空地を確保している。	危政令第16条第1項第4号による距離
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	貯蔵場所と取扱い場所（詰め替え場所）に_____メートルの離隔距離をとる。	危政令第16条第1項第4号による距離
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	小型容器に小分けする際は必要最小限の量とし、炎天下を避け、危険物が直射日光に長時間さらされないようにする。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	貯蔵場所にはアルコール以外の物品を保管しない。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	積み重ね高さは3m以下であること。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	高温となることを避けるため、通気性を確保した日除けを貯蔵場所に設ける。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10型のABC消火器（第5種消火設備）を3本以上設置する。指定数量の倍数が100倍を超えるものについては第5種消火設備に加えて第4種消火設備（大型消火器）を1個以上設置する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	標識、掲示板を設置し、関係者に注意喚起を行う。 「危険物仮貯蔵・仮取扱所」 「危険物の類・品名・数量（倍数）」 「火気厳禁」	
安全対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保有空地を含め、危険物の貯蔵取扱場所での火気使用を禁止する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	漏洩対策として、ブルーシート等を敷くとともに、吸着マット・油吸着材等の応急資機材を準備する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	吸着マット等危険物の流出時の応急資機材を準備する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者が行う。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地震発生、避難勧告時の対応が定められている。	
管理状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保有空地の周囲にバリケード等を設け、空地を確保する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	敷地の出入り管理を徹底し、いたずら・盗難を防止する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	作業前と作業後に点検を行い、その結果を記録する。	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	アルコール類の詰め替えは、取扱い場所以外では行わない。	

※「確認」欄は、計画上問題ないことを確認の上チェックし、実施計画書と共に提出してください。

※「消防」欄は、埼玉西部消防局の現地確認時（または電話連絡時）に使用します。

仮貯蔵・仮取扱い実施計画書（例）（形態例⑥避難所等の屋内における消毒用アルコール貯蔵等）

- 1 仮貯蔵・仮取扱い詳細レイアウト
- 中学校 1階



※アルコールの詰め替え等を行う場合は、屋外にて行うこと。

【凡例】

- 10型消火器
- 危険物仮貯蔵所
 - ・壁：コンクリート（耐火構造）
 - ・出入口：扉（防火設備ではない、施設管理可能）
 - ・屋外に面した窓（開放可能、遮光カーテンあり）
- 標識、掲示板の掲出場所
- 消毒用アルコールの保管場所
 - ・消毒用アルコール1,440リットル（一斗缶×4本×20バケツ）
 - ・アルコールの下にはブルーシートを敷き
 - ・出入口からの距離：6m
 - ・幅（周囲の空地は3m以上）

2 標識・掲示板（例）※標識・掲示板を設置し関係者に注意喚起を行う。



危険物仮貯蔵・仮取扱い所
 危険物の種類・品名・数量（倍敬）
 ・第4類 アルコール類 エタノール
 1,440リットル（3.6倍）
 管理者 ○○ □□

- ・大きさ：縦 30cm 以上、幅 60cm 以上（縦書きでも可）
- ・「火気厳禁」は、地は赤色、文字は白色
- ・「危険物仮貯蔵・仮取扱い所」は、地は白色、文字は黒色

安全対策・管理状況チェックリスト（形態例⑤）避難所等の屋内における消毒用アルコール貯蔵等

	確認	消防	項目	備考
貯蔵及び取扱方法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	アルコール類の一時的な貯蔵（屋内）を行うものである。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	危険物を貯蔵する場所は耐火建築物内である。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	アルコール類は運搬容器の基準に適合するものにて貯蔵する。500ml以下の容器については試験基準を適用しないため、最小限の保管とする。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	積み重ね高さは3メートル以下であること。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保管する容器には蓋をする。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	貯蔵場所では、容器の開栓や小分け等を行わない。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	屋内の貯蔵場所周囲には_____メートルの保有空地を確保している。	危政令第16条第1項第4号による距離
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	貯蔵場所にはアルコール以外の物品を保管しない。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	日除けのためのカーテンを設置する場合については、防災物品とすること。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10型のABC消火器（第5種消火設備）を3本以上設置する。指定数量の倍数が100倍を超えるものについては第5種消火設備に加えて第4種消火設備（大型消火器）を1個以上設置する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	標識、掲示板を設置し、関係者に注意喚起を行う。 「危険物仮貯蔵・仮取扱所」 「危険物の類・品名・数量（倍数）」 「火気厳禁」	
安全対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保有空地を含め、危険物の貯蔵取扱場所での火気使用を禁止する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保有空地を含め、危険物の貯蔵取扱場所での電気機器の使用を禁止する。（自然光による採光。天井の電灯は使用しない。）	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	漏洩対策として、ブルーシート等を敷くとともに、吸着マット・油吸着材等の応急資機材を準備する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者が行う。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	危険物を取り扱う者は、静電安全靴を着用する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地震発生、避難勧告時の対応が定められている。	
管理状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	室内の貯蔵物品の周囲に柵等を設け、空地を確保する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	敷地の出入り管理を徹底し、いたずら・盗難を防止する。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	作業前と作業後に点検を行い、その結果を記録する。	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	アルコール類の詰め替えを行う場合は、安全対策を講じた屋外で実施する。なお、炎天下を避け、危険物を直射日光に長時間さらされないようにする。	

※「確認」欄は、計画上問題ないことを確認の上チェックし、実施計画書と共に提出してください。

※「消防」欄は、埼玉西部消防局の現地確認時（または電話連絡時）に使用します。